

津波に対する備え

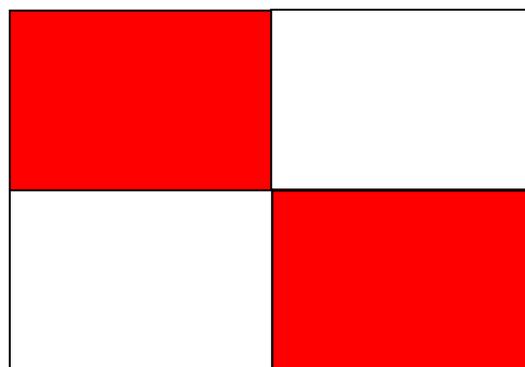
地震＝津波→すぐ避難！

地震は、いつ襲ってくるかわかりません。地震に伴う津波もいつ襲ってくるかわかりません。皆さんが海辺や港など海の近くにいるときに、津波に対してどんな行動が大事なのか、一人ひとりがそのことを知っておくことは、ご自分自身や周囲の人の命を守るうえで、非常に重要です。

以下の点を「津波に対する心得」として持ち、津波による災害から身を守りましょう。



<H23.3.11 沿岸部に押し寄せる津波>



<津波フラッグは津波警報等の合図>

- ▶▶ 強い揺れ（概ね震度4程度以上）を感じたとき又は弱い揺れであっても長い時間ゆっくりとした揺れを感じたときは、迷うことなく迅速かつ自主的に避難する。
- ▶▶ 避難に当たっては、**徒歩**によることを原則とする。
- ▶▶ 揺れを感じなくても、大津波警報・津波警報を見聞きしたり、津波フラッグを見かけたら速やかに避難する。
- ▶▶ 津波注意報でも、海岸保全施設等よりも海側にいる人は、避難する。
- ▶▶ **津波は繰り返し襲ってくる**ので、警報、注意報解除まで気をゆるめない。
- ▶▶ 船に乗っている場合などは、津波避難マニュアルがある場合はマニュアルに沿って行動する。

港にいる場合、津波まで時間的余裕がなく、係留を強化しても津波に対応できない場合には総員退避する。

◆（参考） その他の津波に関する知識

- ▶▶ 1 津波の原因は、地震によるものが最も多い。（地震のほかに、火山噴火による津波などがあります。）
- ▶▶ 2 V字型の湾（リアス式海岸など）は危ない。（一般に外洋に直面するV字型の湾や海岸で、陸に近づくにつれて急に浅くなっているところでは、津波の波高は急に高くなります。）
- ▶▶ 3 津波は川を逆流することがある。（避難するときは、川沿いを避けましょう。）
- ▶▶ 4 海の異常現象を感じたら、警戒し、避難する。（津波が来襲する前兆として、遠雷のような音が聞こえたり、干潮でもないのに海水が急に引いたりしたということが言われています。）

津波てんでんこ

三陸地方には、度重なる津波被害によって多くの犠牲者を出してきた歴史から、**津波てんでんこ**の精神が防災文化として定着している地域があります。これは「津波がきたら、いち早く各自てんでんばらばらに高台へ逃げろ」というものです。

この言葉には、自分の命は自分で守るという意味だけではなく、**自分が避難すればひいては他の人の避難を促す**ことや、事前に相互の信頼を結ぶことが大切であること、そして生き残った人が抱く自責の念を軽くすることといった意味も含まれていると言われています。

福島県災害対策課

〒960-8670 福島県杉妻町 2-16

電話：024-521-7194

FAX：024-521-7920